

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

神奈川県 平塚市

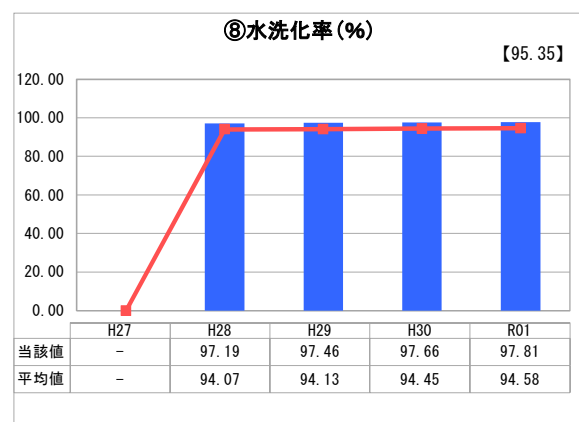
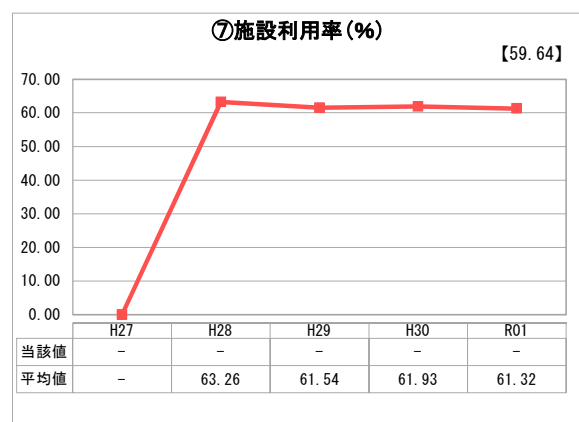
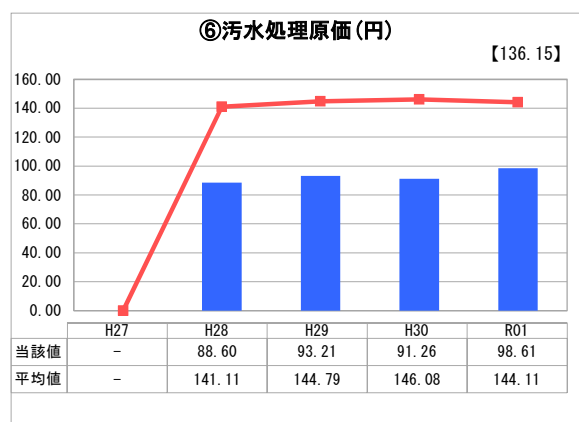
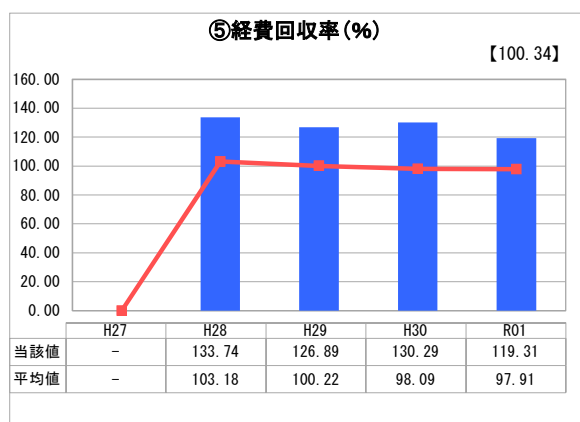
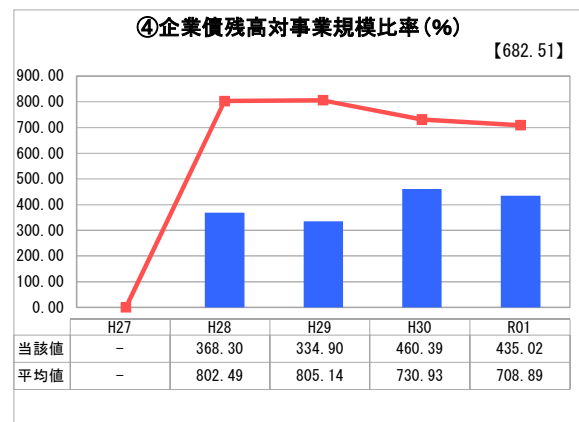
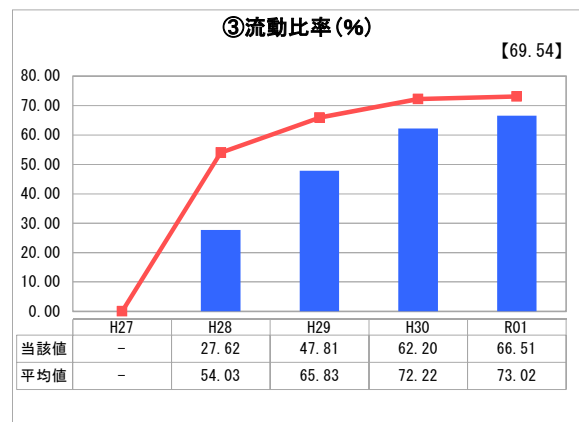
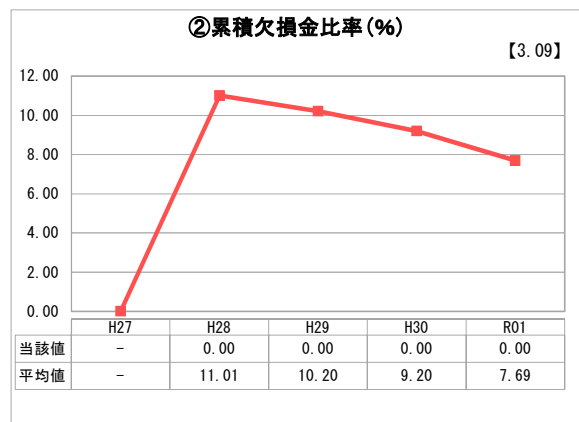
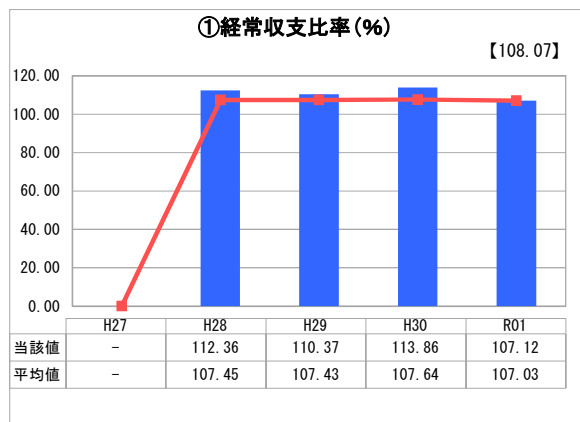
| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 公共下水道  | Ac1    | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 67.69       | 97.55  | 86.04  | 2,035                          |

| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 256,947    | 67.82                    | 3,788.66                      |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 250,554    | 35.23                    | 7,111.95                      |

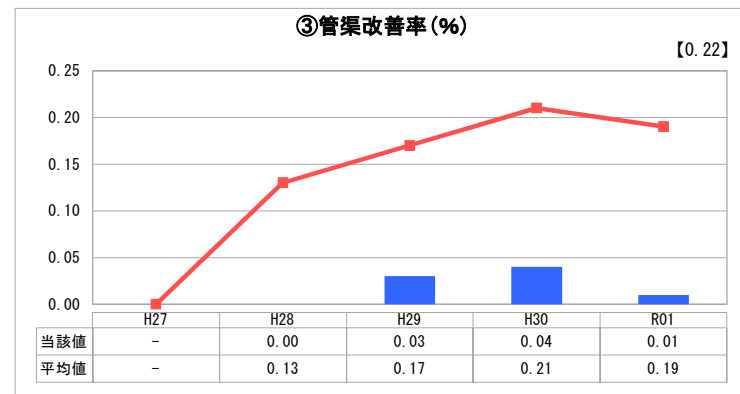
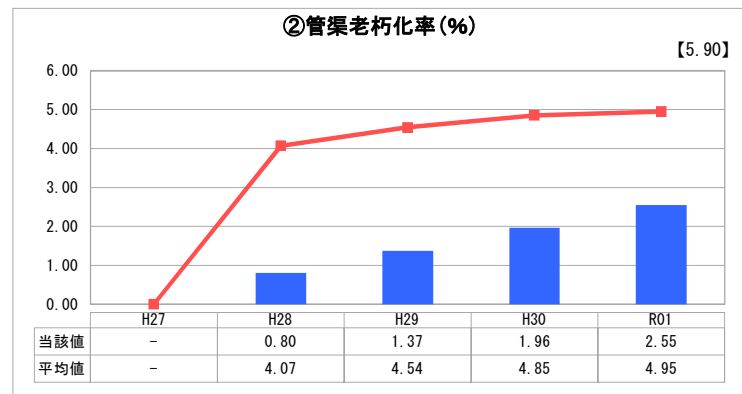
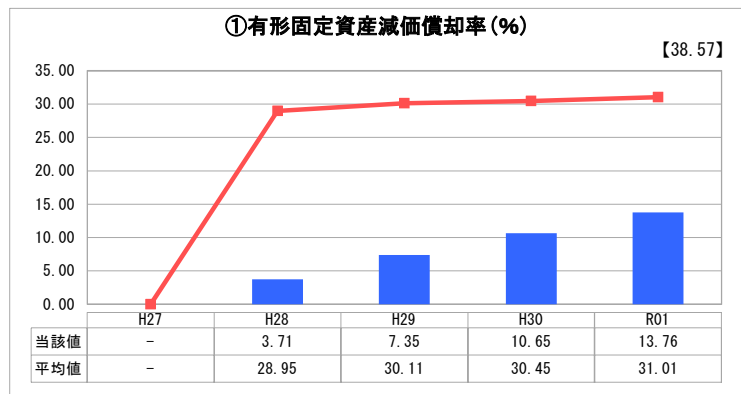
**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%を超え、類似団体平均を上回っています。  
 ②流動比率は全国平均及び類似団体平均を下回っている状況は変わらず、また、前年度から4ポイント以上の改善となりました。当面は75%を目標とし、経営状況の改善に取り組みます。  
 ③企業債残高対事業規模比率は、全国平均及び類似団体平均を下回っています。今後の事業費の増加に伴う借入額の増加見込みに伴う利率の推移に注視し、計画的な償還に努めます。  
 ④経費回収率は100%を超え、全国平均及び類似団体平均を上回り、⑤汚水処理原価も全国平均及び類似団体平均を下回っていることから、現水準の維持を図りたいと考えますが、今後は施設の老朽化等による維持管理費の増加や人口減少が見込まれるため、引き続きコストの縮減に取り組みます。  
 ⑥下水道の整備が概成しているため、⑦水洗化率は高い水準にあります。引き続き未接続世帯に対する接続促進に取り組みます。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②管渠老朽化率については、全国平均及び類似団体平均を大きく下回っていますが、耐用年数を経過した管渠が増加していく状況下において、施設の老朽化対策が今後の重要な課題であるため、③管渠改善率の分析とともに、ストックマネジメント計画に基づく施設調査・点検を通じて、適正な維持管理と計画的な施設の改築更新を進めます。

### 全体総括

各指標により、現時点では、経営の健全性は保たれていると考えられます。一方で、維持管理・施設更新に係る費用の増加と人口減少による下水道使用料の収益の減少が見込まれるため、今後策定する経営戦略において、広域化・共同化や適正な料金水準等あらゆる面での経営努力を行い、下水道サービスの持続的・安定的な提供に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。